

陸域1 (A会場, 11月26日(水) 10:00-11:30)		
A	1	ドローン空撮によるバレイショ異常株検出 ～主に撮影方法の検討について ○小川健太(酪農学園大学)・大木健広・大石 優(農研機構)
A	2	UAVリモートセンシングによる土壌体積含水率の空間分布評価と土壌粒径組成を考慮したダイズ出芽数の空間変動解析 ○小林 望・赤木 聡太・入野田 和奏・本間 香貴(東北大学大学院農学研究科)
A	3	SARによる水田モニタリングにおける小規模なレーダーシャドウの影響とその定量化 ○細沼 航平(東北大)・会田 健太郎(JAXA)・V. J. Ballaran(UPLB)・南雲 直子(東京大)・P. A. Sanches(UPLB)・角田 毅・本間 香貴(東北大)
A	4	X-band SAR衛星データと水稻品種「青天の霹靂」における窒素吸収量の関係 ○一戸 健士郎・境谷 栄二・工藤 予志夫・山地 良樹(青森県産業技術センター)
A	5	時系列ALOS-2 ScanSARデータによる作物フェノロジー観測と作付け分類手法の開発 ○畠田 将貴・大吉 慶(宇宙航空研究開発機構 地球観測研究センター)
A	6	ひまわり8/9号を使用した東南アジア域における耕作サイクルの検出 ○長谷 美咲・市井 和仁・山本 雄平・笹川 大河(千葉大学)・金居 新大(京都大学)・李 偉・張 北辰(千葉大学)
陸域2 (A会場, 11月27日(木) 10:00-11:30)		
A	7	Spatio-Temporal Monitoring of Subtle Infrastructure Deformation Using X-Band Persistent Scatterer Interferometric SAR ○Amila Karunathilake(Asia Air Survey Co., LTD.)
A	8	AHP-GISを用いた岩盤脆弱性マップの構築と干渉SAR時系列解析結果との比較: 四国地方中央部での事例 ○宇佐見 星弥(道総研)・河野 勝宣(鳥取大)・山崎 新太郎(京都大)・石丸 聡(道総研)
A	9	影ラベルによる空撮オルソ画像の生成と影なし画像の生成 ○小林 洋平・坂元 光輝・佐藤 俊明(株式会社パスコ)
A	10	AHIとVIIRSにおけるカーネル型BRDFモデルの係数の比較 ○松岡 真如(三重大)・吉岡 博貴(愛知県立大)・市井 和仁(千葉大)
A	11	インドネシア・ディエン高原における冷気湖と斜面温暖帯の把握 ○金居 新大・岩田 薫・甲山 治(京都大)
A	12	東南アジアメガシティにおける地表面温度の日内変動特性と気候イベントへの応答 ○山崎 蒼麻・山本 雄平・市井 和仁(千葉大)
陸域3 (A会場, 11月27日(木) 12:45-14:15)		
A	13	深層学習モデルを用いた複数プラットフォーム対応型LiDAR単木検出 ○譚 翌柳・楊 昕(筑波大学)・張 静怡(筑波大学 CRIES)・曹 贊健(成蹊大学)・繁野 麻衣子(筑波大学)
A	14	SfM点群データを対象とした単木検出モデルの開発 ○山本 啓(広島総研林技セ)・米 康充(島根大)
A	15	日本における準全国規模の超高解像度DEMデータを用いたGEDI測位精度の向上 李 瀚韜・広嶋 卓也(東京大学農学生命研究所)
A	16	植生被覆域におけるUAV-LiDARを用いた地形抽出: ササ草原を対象として ○濱 侃(千葉大学大学院園芸学研究院)・吉田 圭一郎(東京都立大学大学院都市環境科学研究科地理環境学域)・比嘉 基紀(高知大学教育研究部自然科学系理工学部門)
A	17	複数の光学衛星ステレオ画像による森林樹高推定精度の比較検証 ○長澤 晶斗・筒井 健(Marble Visions)・神立梨沙(NTTデータ)・室木直樹・平間永子(林野庁)・遠藤貴宏(RESTEC)

A	18	RapidEye衛星画像を用いたタケおよびタブノキの抽出における Red-edge バンドの有用性の検証 ～宮城県石巻市周辺を対象として～	○成澤 朋紀・米澤 千夏(東北大)
陸域4 (A会場, 11月27日(木) 14:30-16:00)			
A	19	SAR画像を用いた延焼範囲推定の試み-令和7年今治市林野火災の例	○岩佐 嘉久(ライムコンサルタント)・平田 諒次(応用地質)
A	20	大船渡市山林火災跡地の時系列NDVI解析:2025年3月から9月にかけて	○米澤千夏(東北大学大学院農学研究科)・村田 裕樹(北里大学)・中野 森平((株)アクセルスペース)・渡邊学(合同会社森林付箋)
A	21	実地分光観測から衛星観測へ:HSV空間に基づく植物フェノロジー検出の応用可能性	○水野 優輝(筑波大)・井出 玲子・高橋 善幸(国環研)・村岡 裕由(東京大)・小野 圭介(農研機構)・高梨 聡・深山 貴文(森林総研)・小南裕志(森林総研)・高木健太郎(北海道大)・小林利行(筑波大)・奈佐原(西田)顕郎(筑波大)
A	22	ひまわり8・9号による日内の光合成量推定	○山本 雄平・市井 和仁・楊 偉(千葉大学)・植山 雅仁(大阪公立大学)
A	23	静止軌道衛星による全球超高頻度観測へ向けたセンサー分光応答特性の比較	○笹川 大河・市井 和仁・山本 雄平(千葉大学)・奈佐原 顕郎(筑波大学)
A	24	AMSR-E/AMSR2を用いたマレーシアのオイルパーム地域における植生散乱アルベドの時間変動と受動マイクロ波土壌水分プロダクトの比較	○内藤千尋(東京大学大学院)・竹内 渉(東京大学生産技術研究所)
雪氷 (B会場, 11月26日(水)10:00-11:15)			
B	1	リュツォ・ホルム湾における定着氷の流出サイクル:2013-2022年の氷縁および面積の長期変動(AMSR2・ASCAT・MODIS)	○星野 聖太(東京大学)・舘山 一孝(北見工業大学)
B	2	AMSR2海水氷密接度算定における大気の影響を低減するWeather Filterの検証	○長 幸平(東海大学)・可知美佐子・島田利元(JAXA)・Josefino Comiso(NASA)
B	3	GOSAT-GW/AMSR3の概要と初期観測結果	○島田 利元・可知 美佐子・吉澤 枝里・小原 慧一・会田 健太郎・中田 和輝・鈴木 拓海(JAXA/EORC)・稲岡和也・三浦健史・小島寧(JAXA/GOSAT-GWプロジェクトチーム)・江淵直人(北海道大学低温科学研究所)
B	4	CバンドおよびXバンドSARデータを用いた薄氷域氷厚観測	○若林 裕之(東北学院大学)・長 幸平(東海大学)
B	5	静止気象衛星 ひまわり8・9号の地表面反射率データを用いた積雪日数の推定	○李 偉・市井 和仁・張 北辰・山本 雄平・楊 偉(千葉大)
水域 (B会場, 11月27日(木)10:00-11:30)			
B	6	ドローン特定飛行による藻場分布調査～岩手県大船渡市越喜来湾・綾里湾の事例～	○村田 裕樹・長坂 善禎(北里大)・米澤 千夏・鈴木 はるか(東北大)・佐川 龍之(鳥取環境大)
B	7	衛星画像を用いた藻場分布域の推定における補正手法の比較評価	○永山 一鷹・加部 晏諒・木村 篤史(株式会社 パスコ)
B	8	フラクタル次元の解析によるクロロフィルa濃度分布の特徴検出	○永井 信・緒方一紀・笹井義一(JAMSTEC)
B	9	実測分光反射率データを使ったSentinel-2による瀬戸内浅海域での表層クロロフィルaの高精度推定モデルの初期評価と衛星による検証	○張 皓然・作野 裕司(広島大)

B	10	光学・SAR衛星データによる牡蠣筏検出手法の高度化処理と実験	○上野 琴絵・作野 裕司(広島大学)・岩田 直樹・鹿瀬 一希(中電技術コンサルタント)
B	11	広島県の牡蠣養殖に与える積算水温の影響と年変化	○浦 駿介・作野 裕司(広島大学)
観測機器・大気 (B会場, 11月27日(木)12:45-14:15)			
B	12	GOSAT-GW 温室効果ガス観測ミッションの状況と初期成果	○松永恒雄・谷本浩志・染谷 有・藤縄 環・大山博史・森野 勇・八代 尚(国環研)・杉田孝史・佐伯田鶴・吉田幸生・Astrid Müller・猪俣 敏・Hyunkwang Lim・Nguyen Doan Thien Chi・齊藤 誠・野田 響・山下陽介・丹羽洋介・岡本祥子・池田恒平(国立環境研究所)・金谷有剛・関谷高志・Prabir Kumar Patra・滝川雅之・山口将大(海洋研究開発機構)・笠井康子・佐藤知紘(情報通信研究機構)・小島 寧・塩見 慶・酒井理人・岡村吉彦(宇宙航空研究開発機構)
B	13	Concordance-Referenced Validation of the GOSAT-2 CAI-2 L2 Cloud Flag using Himawari-9 and VIIRS (NOAA-20)	○R. Safabakhsh, T. Matsunaga(NIES)
B	14	冷却型マルチバンド赤外カメラを用いた浅間山の火山噴煙観測	○實渕哲也(防災科研)
B	15	オフナー型分光器を用いたハイパースペクトルセンサの波長校正	○小坪 裕也・松岡 大智・川島 高弘・岩崎 晃(東京大学)
B	16	オリジナル校正ターゲットを用いたマルチスペクトルドローンデータ校正手法の検討	丸江口 毅・Muhammad Daniel Iman bin Hussain・市川 ドルジュ・長井 正彦(山口大学)
B	17	韓国浦項市に設置したコーナリフレクターを用いたSentinel-1後方散乱係数の時系列解析	○竹内 渉 (東大生研)・郭 榮珠((株) イネーブラー)
実利用 (B会場, 11月26日(水) 14:45-16:15)			
U	1	種ばれいしょ異常株検出支援システム実用化に向けた取組	○大石 優・小林 華代子・津田 昌吾・山田 陽一・大木 健広(農研機構)・山本 一哉(シブヤ精機)・前塚 研二(十勝農協連)・小林 恵・田島 和幸・三澤 孝・福家 宏・田中 大樹・鈴木 智・村上 則幸(農研機構)
U	2	Enhancing Monocular Height Estimation via Sparse LiDAR-Guided Correction	○Jian Song(RIKEN AIP)・Hongruixuan Chen, Naoto Yokoya(The University of Tokyo)
U	3	衛星SAR干渉解析を用いたコヒーレンス差分手法による豪雨災害被災地点検出の検討	○吉中 輝彦(株式会社エイト日本技術開発)・進藤 あきほ(東邦技術株式会社)・家田 浩之・土門 未来・古川 ひな・峰野 佳厚・岩崎 俊樹・金沢 宗太郎・前田 理穂・高田 南月(株式会社エイト日本技術開発)
U	4	航空レーザ計測データによる2024年能登半島地震の3次元地殻変動量推定	○山崎 文雄((株)大崎総合研究所)・劉 ウェン(千葉大学)
U	5	衛星画像基盤モデルの海洋領域への応用:河川ブルーム検出におけるファインチューニング性能評価	○中野 裕太・佐藤 浩太・小谷 輝・久田 正樹・河田 博昭・小林 高士(NTT株式会社 宇宙環境エネルギー研究所)
U	6	グレイゾーン事態におけるインテリジェンス - 衛星画像のActivity Based Intelligence理論への適用可能性検討	○葛岡 成樹・小谷 賢(日本大学大学院危機管理学研究科)
実利用(ポスター) (P会場, 11月26日(水) ポスター展示 12:50-14:30 (U7)-(U10))			
U	7	J-GMS: Enhancing Infrastructure Risk Assessment through InSAR Monitoring	Khin Myat Kyaw, Wataru Takeuchi(Institute of Industrial Science, The University of Tokyo)

U	8	NDVI差分解析を応用した林道被災箇所の広域抽出ー長野県中川村や天龍村周辺での大雨の事例ー	○秋田 寛己(NIED)・白澤 紘明・宗岡 寛子(FFPRI)・松澤 義明(NFCA)・平 春・田口 仁(NIED)
U	9	テレメトリ由来の姿勢情報を活用した衛星画像による建物変化検出	○尾近 洸行(三菱電機(株))
U	10	2025年3月28日ミャンマー地震の干渉SARによる建物被害抽出	○遠藤 タ斗・木戸 洋斗・田口 智大・本田 謙一・今井 靖晃・西村 智博・向山 栄(国際航業株式会社)
ポスターセッション (P会場, 11月26日(水) ポスター展示12:50-14:30 (P1)-(P49) コアタイム: 奇数番号 12:50-13:40/偶数番号 13:40-14:30)			
P	1	CE-SAT-IIIB夜間画像を用いた東京都江東区における街灯の解析	○市村 祐樹 ・外岡 秀行(茨城大)
P	2	低周波マイクロ波放射計の予備性能評価	○梅津 祐哉・野母 悠矢(山口大学大学院)・今岡 啓治・新銀 秀徳(山口大学)
P	3	氷況記録装置の開発	○館山 一孝(北見工業大学)・星野 聖太(東京大学)・長谷川 稔(北見工大)
P	4	微小重力天体着陸探査用MAEBASHI CubeSatのコンセプトデザイン	○荒井 武彦・川崎 稜平(前橋工科大学)
P	5	微小重力天体着陸探査用CubeSatの通信システムおよび搭載カメラの基礎開発	○川崎 稜平・荒井 武彦(前橋工科大学)
P	6	基盤モデルのファインチューニングによる小惑星ボルダー検出精度改善についての検証	○許 竣豪(東大)・神山 徹(産総研)・富 宣超・吉川 一朗(東大)
P	7	マルチソース変化抽出システムの高度化	○森 裕樹・齊藤 蔵人・佳山 一帆・安達 勇介・山之口 勤(RESTEC)
P	8	Spatiotemporal Synchronization-Based Validation Using Dawid-Skene and Categorical Triple Collocation: CAI-2 L2 cloud-mask comparison against AHI9 and VIIRS	○R. Safabakhsh, T. Matsunaga(NIES)
P	9	RGB画像を利用したスギ・ヒノキ判別手法の検討	○祖父江 侑紀(奈良女子大学)・竹島 喜芳(中部大学)・米澤 千夏(東北大学)・村田 裕樹(北里大学)・村松 加奈子(奈良女子大学)
P	10	GCOM-C/SGLI地表面温度データを用いた日本の気候区分マッピング	○山根 快斗・水野 優輝(筑波大学)・笹川 大河(千葉大学)・奈佐原(西田) 顕郎(筑波大学)
P	11	GCOM-C/SGLIデータを使った針葉樹林・広葉樹林・草地の分類ー標準プロダクト(カゲ指数と植生ラフネス指数)の利用ー	○曾山 典子(天理大学)・村松 加奈子(奈良女子大学)
P	12	オーストラリア南東部の火災情報に基づくHimawari-8早期火災検出手法の評価(2)	○鈴木 博也・外岡 秀行(茨城大)
P	13	徳島県有瀬地区における干渉SAR時系列解析を用いた斜面変位箇所の推定に関する検討	○小池 雅哉・野々村 敦子(香川大学)
P	14	UAVを用いた希少種ハナガシの開花期における分光特性調査	○才野 亮佑・村井 亮介(高知大学)・市栄 智明(京都府立大学)・橋本 直之(高知大学)

P	15	リモートセンシング技術を利用した奈良県スギ・ヒノキの資源量算定方法	○平山 愛結・村松 加奈子(NWU)
P	16	衛星観測による2025年7月の日本の地表面温度特性の解析	○渡辺 玲奈・市井 和仁・ZHANG Beichen(CEReS)
P	17	MODISデータに基づく全球植生活動の長期変動と変動要因の解析	○越野 真都佳・市井 和仁・長谷美咲・Daniel Henri(千葉大学)
P	18	地形効果の補正が小規模バイオマス燃焼の推定性能に与える影響	○杉本 脩・佐久間 東陽(木更津工業高等専門学校)・山本 雄平・市井 和仁(千葉大学大学院)・島崎 彦人(木更津工業高等専門学校)
P	19	タイムラプスカメラとSentinel-2データを使った小型船舶検出の初期検討	○荒木 秀哉・作野 裕司(広島大学)
P	20	日本沿岸域における2023年以降のSentinel-6波高データの精度検証	○中岡 巧喜・作野 裕司(広島大学)
P	21	可視近赤外域におけるプラスチックの反射・偏光波長特性の調査	○高田 京吾・今岡 啓治・新銀 秀徳(山口大)
P	22	静止海色衛星GOCI-IIによる瀬戸内海における流速推定の初期評価	○鈴木 愛・作野 裕司(広島大)
P	23	AIの超解像技術による衛星画像の高解像度情報検出手法に関する初期評価	堀口 昌晃・作野 裕司(広島大)
P	24	Landsat-8/9 OLIデータと線形結合指標を用いた広島湾におけるクロロフィルa濃度分布の季節変動解析	○宮郷 裕大・小黑 剛成・伊藤 征嗣・小西 智久(広島工大)
P	25	衛星の高解像度化および分光・熱赤外特性を利用した瀬戸内海の船舶検出の可能性	○中村 光太・作野 裕司 (広島大学)
P	26	海洋短波レーダーによるドップラースペクトルからの 流速導出と冷水流入現象の解釈	○中條 飛翔・阿部 泰人(北海道大学)・金子 仁・佐藤 喜暁・佐々木 建一(JAMSTEC)
P	27	LCI手法を用いた近赤外域の海中射出反射率の推定精度向上の検討	○坂本 萌希(東海大)・緒方 一紀(JAMSTEC)・虎谷 充浩(東海大学情報技術センター)
P	28	ICESat-2 データによる浅海域の水深精度検証ー沖ノ鳥島・南鳥島・瀬戸内海の 比較	○黒柳佑太・作野裕司(広島大学)
P	29	Sentinel-2複数年データを用いた積雪履歴図の作成と積雪と標高の関係性調査	○和田 拓実(長岡技術科学大学大学院修士課程)・高橋 一義(長岡技術科学大学)
P	30	海色衛星データを使った海底火山による変色水分布	○中道 文龍(東海大学)・虎谷 充浩(東海大学情報技術センター)
P	31	衛星画像時系列を用いた深層学習による土地被覆分類	○有安 恵美子・角田 里美(アジア航測)
P	32	JAXA日本域高解像度土地利用土地被覆図バージョン25.04 (2020・2022・2024) の変化解析	○平出 尚義・奈佐原 (西田) 顕郎・伊藤 駿(筑波大)・平山 颯太・田殿 武雄(JAXA EORC)

P	33	時系列衛星観測データに対する大気補正処理の違いが土地利用土地被覆の分類性能に与える影響	○田中 亮介・佐久間 東陽(木更津工業高等専門学校)・山本雄平・市井 和仁(千葉大学環境リモートセンシング研究センター)・島崎 彦人(木更津工業高等専門学校)
P	34	疎植生域鉱山採掘領域の時系列推定: U-NetとSegFormerの性能評価	○廣田琳治・佐久間東陽(木更津工業高等専門学校)・山野博哉(東京大学)・中島謙一(国立環境研究所)
P	35	バイオマス推定プログラムとUAVを利用した農家圃場におけるダイズの生育変動評価	○入野田 和奏・小林 望(東北大学大学院農学研究科)・田中佑(岡山大学大学院)・亀岡 笑・本間 香貴(東北大学大学院農学研究科)
P	36	衛星画像及びGISデータを用いたランダムフォレストによる遊休農地区分の判別(2)	○大友 紺海・外岡 秀行(茨城大)
P	37	タイ東北部/バンバイの塩害水田地帯における塩類濃度とリモートセンシング指数の経年変化	○渡邊 芽唯(高知大学)・牧 雅康(福島大学)・本間 香貴(東北大学)・橋本 直之(高知大学)
P	38	水稻群落の点群鉛直分布推定モデルの改良の試み: レーザスポットサイズ効果	○島田 康司・三谷 和輝(長岡技術科学大学大学院)・中村 健・高橋 一義(長岡技術科学大学)
P	39	茨城県笠間市周辺における衛星画像を用いた栗農地検出の試み(3)	○神津 俊輝・外岡 秀行(茨城大)
P	40	インドネシアにおけるイネ白葉枯病の発生箇所と健康箇所の 赤バンド反射率とNDVIの時系列比較	○中田 有紀・牧 雅康(福島大)・本郷 千春(千葉大)
P	41	ドローンLiDARの走査方式の違いが水稻群落の点群鉛直分布に及ぼす影響	○三谷 和輝・島田 康司(長岡技術科学大学大学院修士課程)・中村 健(長岡技術科学大学)・高橋 和泉・猪俣 有理(株式会社スカイフォトサービス)・高橋 一義(長岡技術科学大学)
P	42	時系列干渉PALSAR-2を用いた大阪湾のとある臨海部の 地盤沈下モニター(2)	○召田 響・島田 政信・押尾 晴樹(東京電機大学)
P	43	高分解能衛星画像によるテクスチャ解析を用いた令和6年能登半島地震の建物復旧調査の適切な指標に関する検討	○鈴木 健・園部 雅史・羽柴 秀樹(日本大学理工学部土木工学科)
P	44	能登半島地震で隆起した砂浜海岸の植生と地形の変化に関する研究	○田村 能聖・岡 浩平(広島工大)
P	45	A Fast Disaster Event Detection Method Based on a Series of Nighttime Light Images: Optimization and Validation for the Zhengzhou Flood Case of July 2021	○Ruiyu Liu, Takashi Machimura(Osaka University)
P	46	クロストラック干渉SAR データセットからのDTM生成	○上本 純平(NICT)
P	47	AW3D高精細版地形データを用いた高潮浸水解析用堤防データの作成(2)	○古市 健・外岡 秀行(茨城大)
P	48	高解像度航空写真を用いた屋根劣化診断の手法検討	○石井 久美子・加部 晏諒・永山 一鷹・木村 篤史(株式会社 パスコ)
P	49	干渉SAR分析を用いた都市部液状化被害の分析に関する研究	○石郷岡 龍人・酒井 佑模(苫小牧高専)